2026年4月入学者用

大阪教育大学

OSAKA KYOIKU UNIVERSITY

特別支援教育特別専攻科

SPECIAL NEEDS EDUCATION

特別支援教育
特別専攻科

発達障がいをはじめ
特別なニーズのある子どもを理解し
支援する高い実践力を備えた
人材を育成

■ 目 的

特別支援教育特別専攻科は、特別支援教育の充実に資するために発達障がいをはじめとする幅広い障がい種に関する専門教育を行い、実践的な指導力のある教員を養成することを目的としています。
特別支援教育の現場では、子どもたちの障がいの多様化、重度化、重複化が進んでいます。
また、通常の学校（通常の学級）においても、障がいのある子どもへの理解と支援が求められています。本専攻科では、インクルーシブ教育システム構築の観点から、子どもの個々の能力や個性、ニーズに応じた高度な教育支援を実践できる教員の育成をめざします。

■ 概要・特色

特別支援教育特別専攻科の入学定員は30人となっています。修業年限は1年間で、出願資格である幼稚園・小学校・中学校・高等学校の教諭の普通免許状のいずれかを有する方は特別支援学校教諭一種免許状を取得することが可能です。
本専攻科では通常の講義に加えて、教育現場における実習経験の機会を豊富に用意し、実践的な知識・技能の習得を目指します。過去に大学等で特別支援教育を専門的に学んだ経験のない方も対象としていること、現職教員の方々とも共に学べることも本専攻科の特色です。

● 令和7年度 特別支援教育特別専攻科 入学定員・入試結果一覧　令和7年4月1日現在

区　分	入学定員	志願者	受験者	合格者	入学者
特別支援教育 特別専攻科	30人	24人	23人	23人	19人

主な開講科目（必修科目）

特別支援教育総論、知的障害者の心理・生理・病理、肢体不自由者の心理・生理・病理、病弱者の心理・生理・病理、発達障害教育、発達障害指導論、聴覚障害教育、知的障害教育、知的障害指導論、肢体不自由教育、肢体不自由指導論、病弱教育、障害者の心理・生理・病理、視覚障害教育、重複障害教育など

主な授業内容「発達障害指導論」

注意欠如多動性障がい、学習障がい、自閉症スペクトラム障がいなどの発達障がいのある子どもの教育について、事例をまじえながら個々の特性に応じた指導法を具体的に学びます。

※授業名称は令和7年度開講のものです。

● 特別支援教育特別専攻科　取得可能な免許状

免許状の種類
特別支援学校教諭一種免許状（領域：「知的障害者」「肢体不自由者」「病弱者」）

● 令和7年度 担当教員

■［教　授］井坂 行男・大内田 裕・西山 健・平賀 健太郎［特任教授］早野 眞美
■［准教授］今枝 史雄・奈良 里紗・正井 隆晶・山﨑 愛子［講師］湯浅 哲也［特任講師］五島 脩・茂野 仁美

【 特別支援教育特別専攻科修了者の進路 】

（単位：人）

	就職者													進学	その他	合計	合計のうち現職教員
	教員							保育所	企業	公務員（教員除く）							
	公立学校					公立学校以外の教員	小計										
	小学校	義務教育学校	中学校	高等学校	幼稚園・特別支援学校												
令和2年度修了者（R3.5.1データ）	4(0)	0(0)	4(1)	0(0)	12(8)	0(0)	20(9)	0	1	0	1	1	23(9)	5
令和3年度修了者（R4.5.1データ）	8(0)	0(0)	0(0)	0(0)	12(7)	2(2)	22(9)	0	2	1	1	1	27(9)	8
令和4年度修了者（R5.5.1データ）	5(0)	0(0)	1(1)	0(0)	12(5)	1(0)	19(6)	0	3	0	0	0	22(6)	2
令和5年度修了者（R6.5.1データ）	6(1)	0(0)	4(1)	1(1)	9(3)	1(0)	21(6)	0	2	0	2	2	27(6)	9
令和6年度修了者（R7.5.1データ）	5(0)	1(0)	4(1)	1(0)	6(1)	0(0)	17(2)	0	2	1	1	2	23(2)	7

※（　）内は、期限付講師等で内数

■ 入学料 および 授業料

令和7年度入学	入学料	入学時諸費用（大阪教育大学校友会）	授業料（年額）
特別支援教育特別専攻科	58,400円	40,000円	273,900円

※「大阪教育大学校友会」は、教育研究活動、大学行事、課外活動、福利厚生、奨学金給付及び就職への支援など様々な学生支援事業を行うとともに、在学生を含む卒業生、修了生の同窓会活動への支援を行う組織です。入学時のみ必要な費用です。
※上記記載の金額は、令和7年度入学者の金額であり、令和8年度入学については、変更される場合があります。
※在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。
※このほか、テキスト代や実習等の経費、課外活動等の経費は別途必要となる場合があります。

■ 免除制度（一般選考）

経済的理由により入学料・授業料の納付が困難であり、かつ、成績優秀と認められる方を対象に選考のうえ、入学料・授業料の全額又は半額が免除あるいは徴収が猶予されます。

● （参考）令和6年度授業料免除実績

区分	免除率	前期		後期		免除額
		申請者数	免除者数	申請者数	免除者数	
専攻科	全額免除	5人	3人	5人	3人	821,700円
	半額免除		2人		1人	205,425円

■ 障がい学生修学支援ルーム

障がい学生修学支援ルームでは、障がい等のある学生が他の学生と等しく教育を受けることができるよう、各種の修学支援に取り組んでいます。
また、入学後に修学上の配慮を希望する方の事前相談にも応じています。

問合せ先

■ 柏原キャンパス（C6棟2階）　072-978-3479（開室時間　8:30～17:15）
■ 天王寺キャンパス（中央館204）　06-6775-6657（開室時間13:00～21:30）
■ e-mail　sienroom@bur.osaka-kyoiku.ac.jp（共通）

教員の声

奈良 里紗
准教授

我が国では、多様な場で多様な学びを提供することが求められています。昨今の特別支援教育の現場では、障がいの重度重複化に伴い、子ども一人ひとりに応じた丁寧な指導がますます必要とされています。そのためには、子どもの特性を理解し、実践的な指導ができる専門性の高い教員の育成が不可欠です。

本学の特別支援教育特別専攻科では、1年間で特別支援学校教諭一種免許状（知的障害・肢体不自由・病弱）を取得することができます。短期間で密度の濃い学びを通じて、特別支援教育の専門性を高めることが可能です。

本専攻科には、学部を卒業したばかりの方から、現場で活躍する現職教員まで、多様な背景を持つ学生が全国から集まってきます。年齢や経験、立場の異なる仲間とともに学ぶことで、多角的な視点を得られることも大きな魅力の一つです。

さらに、多様な障害領域（視覚・聴覚・知的・肢体・病弱・発達障害等）の専門教員が在籍しており、豊富な研究実績と現場経験を活かした質の高い教育が提供されています。講義や演習では、教育課程の編成、教材研究、学習指導案の作成など、現場で即戦力となる力を身につけることができます。

教員採用試験に向けたサポート体制も整っており、個別の相談にも丁寧に対応しています。また、本学は障がいのある学生に対する支援体制が整っており、合理的配慮のもとで安心して学べる環境が整っています。私自身も視覚と聴覚に障害のある教員として、授業やゼミでの指導教員などを通して皆さんの学びをサポートしています。

学び合い、支え合いながら特別支援教育の専門性を磨きたいと考える皆さんにとって、本専攻科はきっと新たな一歩となるはずです。**ぜひこの学びの場で、志を同じくする仲間と出会い、未来の教育をともに創っていきましょう。**

>>> 特別支援教育 特別専攻科　授業スケジュール

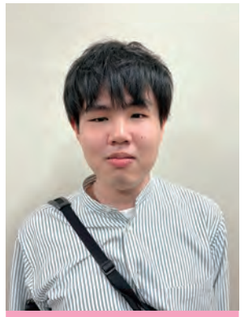
前期の授業スケジュール	月	火	水	木	金
1限				発達障害指導論	
2限			視覚障害教育	聴覚障害教育	重複障害教育
3限	肢体不自由教育			発達障害教育	
4限	病弱教育			聴覚障害心理	
5限				知的障害教育	

後期の授業スケジュール	月	火	水	木	金
1限					
2限		病弱者の心理・生理・病理		特別支援教育総論	
3限					
4限				障害者の心理・生理・病理	特別支援教育ゼミナール
5限					

集中講義	聴覚音声生理・病理、肢体不自由者の心理・生理・病理、知的障害者の心理・生理・病理、ユニバーサルデザイン授業論、聴覚障害指導論、知的障害指導論、肢体不自由指導論、特別支援教育実践演習

※上記の授業スケジュールは、令和7年度入学生用カリキュラムによる一例であり、入学後にこのような時間割になることを約束するものではありません。

>>> 特別支援教育 特別専攻科　在学生の声



学部卒業生
大野 圭梧

入学を決めたきっかけ	私は将来、視覚支援学校で働きたいと考えています。その一方で、視覚支援学校での教育実習を通して、特別支援教育に携わるだけの知識が足りていないと痛感しました。そこで、以前から視覚障がいのある先輩が何名か在籍していた、特別専攻科に進学することを決めました。
入試対策	私にとって身近な課題は視覚障がいだったので、自分なりにどのような教育課題があるかを書き出しました。その後、大学で書いた卒業論文の研究計画書を参考に、研究計画を落とし込んでいきました。小論文・面接に関しては、大学で履修した特別支援教育のノートを見返して対策しました。
入学して良かったこと	私は視覚障がいがあり、これまで特別支援教育を「受ける」立場でした。これまで自分が受けてきた教育を、教職員の視点から捉え直すことができ、毎日がとても新鮮です。現職の先生も進学されているので、現場の「生の声」を聞くことができる点も、大きな魅力だと思います。
入学前にすれば良かったこと	特別専攻科は1年の課程なので、入学直後からスケジュールがタイトになります。私は教員採用試験の手続きが遅れていたので、特別専攻科の手続きと同時進行で、大慌てで申し込むこととなりました。勉強も書類の準備も、可能ならば3月から計画的に準備を進めると、後々楽になると思います。
受験生へのメッセージ	合格を目指して頑張ってください。

STUDENT VOICE

現職
八田 真由美
洲本市立中川原小学校

入学を決めたきっかけ	20年以上小学校に勤務し、特別支援学級担任や通級指導担当、コーディネーターとして特別支援教育に携わってきました。様々な子どもや保護者に出会い教育実践をする中で、「どの子も楽しく学校生活を送れるようにしたい！」という思いが高まり、現職教員派遣という形で1年間特別支援教育について学ぶことを決めました。
入試対策	文科省の特別支援教育に関するサイトをチェックし、特別支援教育についての知識を深めました。過去問を使って小論文の練習をしたり、面接の質問項目に関して自分の経験や知識、考えを整理して書き出したりしました。また、研究計画書の書き方についての参考書をもとに自分の考えをまとめました。
入学して良かったこと	学ぶことに集中できる環境は大変素晴らしいと思います。特別専攻科では、様々な大学の学部を卒業した学生や他府県の現職、多くの経験を積まれた先生方が集まっています。多角的な視点から学びを深めることができる大変貴重な経験ができていると思います。
入学前にすれば良かったこと	特にこれをすれば良かったということはありませんが、特別支援教育に関する基礎的な知識があると、より学びが深まると思います。
受験生へのメッセージ	学びたいことを学べるって楽しいですよ！

STUDENT VOICE

2022年3月専攻科修了

太田 泰史

草津市立老上西小学校
通級指導教室 担当

特別支援教育特別専攻科で最先端の特別支援教育を学び、みなさん自身を変えてみませんか?

通常学校では、年々ADHDやLD、ASDなど発達障がいが原因となり、不登校や教室不適応などの二次障がいを引き起こす子どもが増加しています。私はその状況を「何とかしたい」という思いで、本学の特別専攻科で一年間、現職教員派遣という形で学びました。

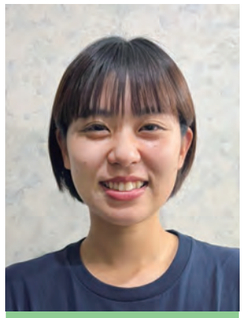
一年間の学びを終えて、自分の教育観や指導観だけでなく人生観までも180度変わったと思います。私は発達障がいコースで学んだのですが、WISC-IVやK-ABCなどのアセスメント法や、通常学級での応用行動分析に基づく支援方法など、現場ですぐに使える最先端の知識を学ぶことができました。その結果、特別専攻科で学んだことを現場で面白いように活かすことができています。また、特別専攻科の先生方は大変熱心なため、指定の講義やゼミだけでなく、個人的な指導も対面とオンラインとを学生の事情に合わせて併用しながら実施していただけました。どんな質問に対しても非常に丁寧に回答してくださいます。

そして現場に戻った現在も、交流させていただいています。学部から進学される方等は特別支援学校の免許状を取得するだけでなく、教員となった後どの校種でも、本学での特別専攻科の知識が活かされると思います。ぜひ、特別専攻科を受験されることをお勧めします!

受験生へのメッセージ

学生の方、社会人の方、現職の方など、
人生を変える素敵な経験を味わうために、特別専攻科をお勧めします!

GRADUATE VOICE



2022年3月専攻科修了

林 有咲

伊丹市立
伊丹特別支援学校 教諭

特別支援教育特別専攻科に進学して

大学2回生の時に学び始めた手話を通して特別支援教育に関心をもち、特別専攻科に進学することを決めました。今振り返ると、1年という短い期間ではありましたが、私にとっては非常に充実した1年を送ることができたように思います。

講義では、それぞれの障がいに関する専門的な学びを得ることができたと共に、グループワークを通して他の学生と意見交換をすることでより考えを深めることができました。また、専攻科には現職の先生方や障がいのある子どもに関わる仕事をしていらっしゃる方も多く在籍しており、学校現場についてお話を聞いたり、様々な考え方・見方に触れたりすることができる貴重な機会が多くありました。

特別専攻科を通して、特別支援教育に関する豊かな学びや、新たな出会いを多くもつことができ、進学して良かったなと改めて感じます。

受験生へのメッセージ

皆さんも特別専攻科に入って充実した1年を過ごしましょう!

GRADUATE VOICE

2025年3月専攻科修了

田中 大樹

尼崎市立園田南小学校
教諭

特別支援教育を学べるという貴重な機会が1年間

私が特別専攻科で学んだ動機は、特別支援教育の最新の動向や理論を学ぶためでした。現職教員派遣という制度を利用して、特別支援教育に関する知識や実践力を深く学ぶことができました。

1年間とは思えないほどの濃い学びの時間の中で、困難さがある子どもたちに対応する方法を知ることができ、とても贅沢な時間だったと感じています。

講義の中では指導してくださる先生方の教育や子どもたちに関する思いなども知ることができ、有意義な時間となりました。教育現場に戻って感じることは、特別支援教育は全ての子どもたちに有効な手立てであるということです。そのきっかけや考え方を特別専攻科で学ぶことができたのではないかと感じています。また、日々学ぶ仲間と過ごしていく中で様々な地域の動向や個人の思いを知ることができたことも、かけがえのない財産になっています。

特別支援教育について学びたいという方、ぜひ特別専攻科で学んでみませんか?

受験生へのメッセージ

特別支援教育を学びたいという思いを大切に!

GRADUATE VOICE

2021年3月専攻科修了

西川 昭子

滋賀県総合教育センター
特別支援教育係
研修指導主事

より深い学びを得られる場所で、特別支援教育について考えてみませんか?

大阪教育大学の特別支援教育特別専攻科は、熱心な先生方に、深い専門的知識と豊富な実践例を教えていただくことのできる素晴らしい学びの場です。私は中学校教員として、障がいのある生徒たちに、より適切な支援をするにはどうしたらよいか考えたいと思い、現職教員派遣として特別専攻科に入学しました。

たくさんの資料を元に進んでいく授業には、最初は圧倒されましたが、先生方がどんな質問にも丁寧に答えてくださるおかげで理解が進み、知識や理念が身についていくのを実感することができました。教育実習の事前事後指導や、論文の作成に対しては、遠方から通う私のためにオンラインでも実施してくださり、万全のサポート体制で最後まで指導していただきました。

そして、通級指導教室担当として働いている今も、教材や事例についてメールや電話で相談するなど、交流させていただいています。在学中・修了後を問わず人と人との繋がりが大切にされている特別専攻科で学ぶことができて、教育に対する考え方もより深いものに変わったと感じています。

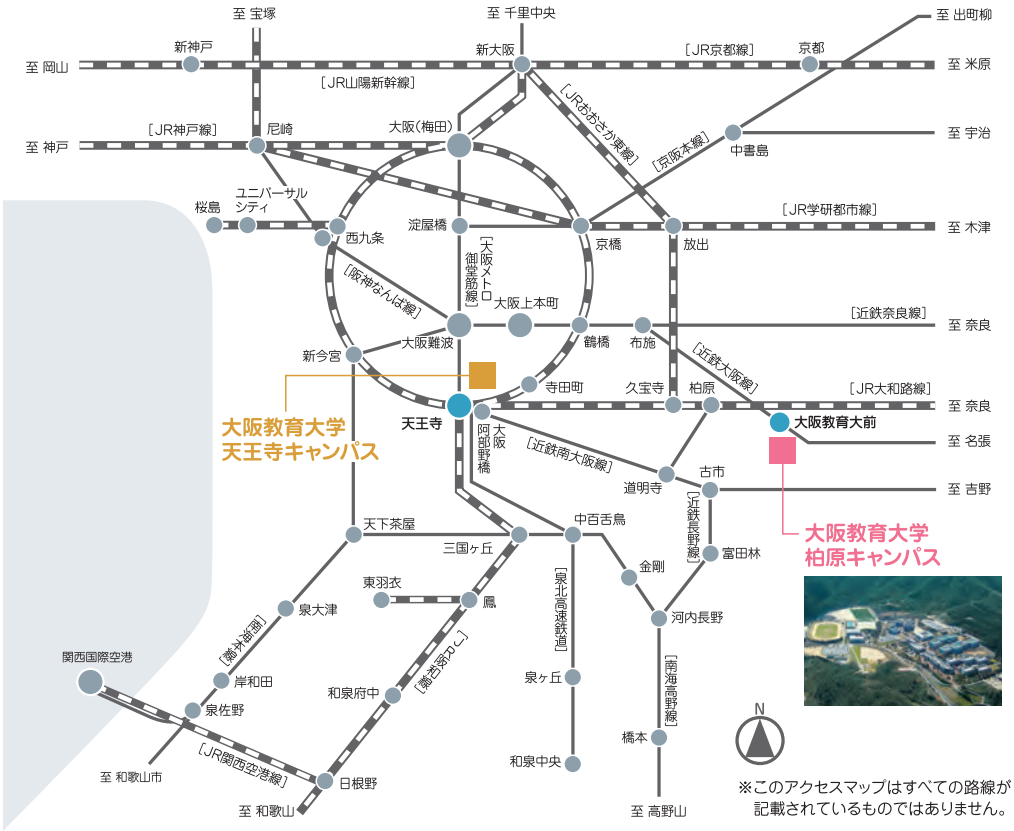
特別支援教育を学びたいと考えている方々に、ぜひ、大阪教育大学特別支援教育特別専攻科の受験をお勧めします。

受験生へのメッセージ

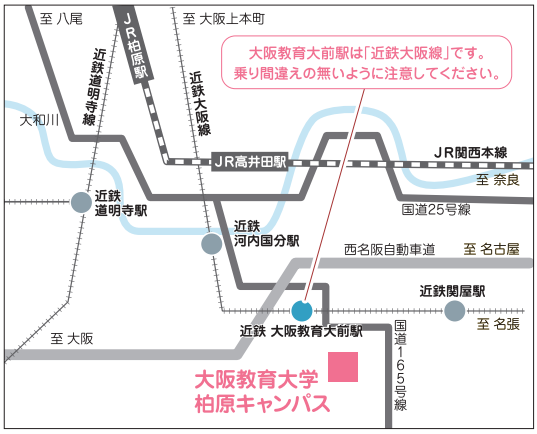
熱意ある先生、仲間が待っています。

GRADUATE VOICE

ACCESS



※このアクセスマップはすべての路線が記載されているものではありません。



大阪上本町駅から大阪教育大前駅まで近鉄電車で**23**分
JR大阪環状線鶴橋駅から大阪教育大前駅までなら**19**分

国立大学法人
大阪教育大学

https://osaka-kyoiku.ac.jp/

大阪教育大学　学務部入試課
〒582-8582　大阪府柏原市旭ヶ丘4-698-1　TEL 072-978-3323